

団体名：特定非営利活動法人 フィリピンナガイサ

ナガイサ
Nagkaisa とは、「ひとつになる」という意味です。



在日フィリピン人
に対する生活支援
事業



在日フィリピン人
の子どもに対する
教育支援事業

静岡県西部に暮らす在住フィリピン人に対して生活支援・社会教育支援を通じて日本人住民との相互理解を深めることを促し、自立・共生社会実現を目指しています。



フィリピンの文化紹介や国際交流に関する事業



1994 年、日本人配偶者と結婚したフィリピン人女性たちが、ふるさとの仲間とともに日本語、日本文化、習慣、ルール、マナー等を学ぶために結成しました。近年は来日背景、滞在環境の変化から男性や子どもたちも多く在籍しています。また、2012 年にはNPO法人になり、活動を支える日本人の参加も増えました。

特定非営利活動法人フィリピンナガイサ

ホームページ <http://filipinonagkaisa.org/> メール filipinonagkaisa@yahoo.co.jp

080-4308-8380 (タガログ語) 090-9175-8380 (日本語)

事業実施概要

事業名称	バヤニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～
地域の課題	静岡県西部地区のフィリピン人は増加しているが、日本の言語、習慣、ルール等がわからず日本社会との接点が希薄な人がある。また、「自信がない」という理由から日本人とコミュニケーションをとることができないという人もある。
事業の目的	① 自立支援 ② 地域との連携…日本人ボランティアの参加呼びかけ／行政、企業等へ講師派遣を依頼し、交流を深める。（理解者の裾野を広げる） ③ 教室運営能力を高める…バイリンガル指導者による特色ある日本語教室を運営する。
事業の概要	日本語教育の実施 名称：バヤニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～ 目的：フィリピン人と日本人の相互理解を深め、在住フィリピン人の自立を促進する。 対象：日本語レベル入門・初級の「生活者としての」フィリピン人 人数：87人（主な出身・国籍：フィリピン）／時間：70.5時間（全30回） 内容：行政や企業、ボランティアの協力を得て、日本語と生活情報を組み合わせて教授する。
	日本語教育を行う人材の養成・研修の実施 名称：バイリンガル指導者・日本語ボランティア養成講座～みんなで地域をつくっていこう～ 目的：「協働」の視点から、地域の課題にあった日本語教室が運営できる人材を育成する。 対象：①バイリンガル指導者とそれを目指す者 ②日本人住民 時間：33時間（全12回）／人数：66人（出身・国籍：フィリピン、日本、ペルー） 内容：国、地方行政の動向を積極的に取り入れる。
	日本語教育のための学習教材の作成 名称：バヤニハン日本語教室～みんなで地域をつくっていこう～オリジナル教材 目的：生活に必要な日本語を厳選、日本語学習の入口としての機能を持った教材を作成する。 対象：静岡県西部地区に暮らす日本語レベル入門、初級の「生活者としての」フィリピン人 構成：本事業の日本語教室で取り扱うテーマに沿って、学習教材を作成した。
成果と課題	成果：フィリピン人と日本人スタッフが協働し、①「母語によるニーズ把握」②「得られたニーズから、“日本社会と接点を作る”という視点でカリキュラムを組む」③「活動の発信」④「活動から見てきた課題の発信（人材育成事業へ発展）」⑤「改善」を続けて6年目になる。多くの関係諸機関やボランティアと連携を深めることができた。 今後の課題：当地域のフィリピン人は若年層の入国が微増しており、中年層においては永住、定住傾向にある。若年層には日本社会で安定して暮らすための情報提供、進路相談が、そして中年層には「どこで余生を過ごすか」、「老後に必要な備えは何か」を考える場の提供が必要である。
発表者から一言	学習者（工場勤務の日本語能力初級者が多い）のニーズより、26年度は「税金（国税と地方税の回を分けて）」「労働者の権利と義務」「社会保険の仕組み」「工場ライン業務でよくある困った事例の解決方法」等を学びました。毎回授業後、学習者にアンケートを行いました。得られた回答から読み取る「真のニーズ」をお話いたします。さらに「学習ニーズを地域の連携に結びつけて運営すること」から期待している展望についても発表します。